

議題 1

白井市民の「健康」に関するアンケート調査結果について

1 調査実施の目的

白井市民の健康に関する意識や生活習慣などを把握し、「第2次しろい健康プラン」の評価及び「第3次しろい健康プラン」を策定するための資料とする。

2 調査の設計と内容

	一 般	高 校 生	小 学 生
調査対象	市内在住 20 歳以上の男女 2,000 人 (前回調査 2,200 人)	高校 1 年生相当の男女 662 人	小学 5 年生男女 723 人
対象者	住民基本台帳からの無作為抽出	平成 15 年 4 月 2 日～平成 16 年 4 月 1 日生まれの人	市内公立小学校に在籍してい る小学 5 年生全員
調査方法	郵送法 (郵送配布・郵送回収) (礼状兼依頼のはがき 1 回)		学校で配布回収・自宅で記載
調査期間	令和元年 11 月 21 日 (木)～12 月 12 日 (木)		令和元年 11 月 8 日 (金)～ 12 月 6 日 (金)
調査内容	1 健康状態について 2 食生活・食育について 3 運動について 4 たばこ・飲酒について 5 健康の自己管理について 6 歯と口腔の健康について 7 地域との関わりについて 8 自殺予防について 9 これからの取り組みについて 10 回答者自身について	1 生活習慣について 2 食生活・食育について 3 運動について 4 歯の健康について 5 こころの健康について 6 回答者や家族について	1 生活習慣について 2 食生活・食育について 3 運動について 4 歯の健康について 5 回答者や家族について
標本数 (A)	2,000 件 (前回調査 2,200 件)	662 件	723 件 (前回調査 646 件)
回収数 (B)	947 件 (前回調査 1,198 件)	283 件	657 件 (前回調査 609 件)
無効票 (C)	3 件 (前回調査 10 件)	1 件	0 件 (前回調査 0 件)
有効回収数 (D=B-C)	944 件 (前回調査 1,188 人)	282 件	657 件 (前回調査 609 件)
有効回収率 (E=D/A)	47.2% (前回調査 54.0%)	42.6%	90.9% (前回調査 94.3%)

3-① 調査結果（平成 26 年の調査結果から 5 ポイント以上変化した項目）

○一般調査（20 歳以上男女）

調査項目		増減状況
自分の健康に関する悩みや不安がある（「とてもある」「ある」）		11.1 ポイント増加
かかりつけ薬局がある		7.7 ポイント増加
言葉と意味を知っている	誤嚥性肺炎	18.4 ポイント増加
	ロコモティブシンドローム	6.5 ポイント増加
	共食	5.6 ポイント増加
	8020（ハチマル・ニイマル）運動	5.4 ポイント増加
主食、主菜、副菜を3つそろえて食べる1日の回数が2回以上		5.5 ポイント減少
歯の本数が「28本以上」		18.0 ポイント増加
むし歯や歯周病予防に効果的な方法だと思うもの デンタルフロス（糸ようじ）・歯間ブラシの使用		19.6 ポイント増加
むし歯や歯周病予防効果のある歯みがき剤を使用		11.7 ポイント増加
歯の定期健診		6.1 ポイント増加
むし歯や歯周病予防で日頃実践していること デンタルフロス（糸ようじ）・歯間ブラシの使用		15.9 ポイント増加
むし歯や歯周病予防効果のある歯みがき剤を使用		12.5 ポイント増加
歯の定期健診		10.3 ポイント増加
直近1年間の歯の定期健診の受診		6.9 ポイント増加
地域の自治会活動が大切と思う人		8.8 ポイント減少
市が力を入れていくべき取り組み「心の健康対策」		7.8 ポイント増加

○小学5年生

調査項目		増減状況
10時までに就寝する児童		6.1 ポイント減少
帰宅後に1時間以上していること インターネットをしている		12.8 ポイント増加
ゲームをしている		8.6 ポイント増加
テレビを見ている		7.1 ポイント減少
勉強をしている		6.7 ポイント増加
メールやラインなどをしている		5.9 ポイント増加
苦手な食べ物 貝類		8.1 ポイント増加
魚介類		6.8 ポイント増加
苦手なものはない		6.3 ポイント減少
食事の手伝いをほとんどしていない		7.8 ポイント増加
野菜を育てたり、収穫することに対する興味がある		7.7 ポイント減少

おやつを食べる頻度 毎日食べる 食べない日が多い	5.9 ポイント増加 5.7 ポイント減少
おやつでよく食べるもの 甘い飲み物（コーラ・ジュースなど）	5.0 ポイント減少
今よりもっと運動をしたいと思う条件（運動をする自由な時間があったら）	6.6 ポイント減少
学校で歯みがきの授業を受けたことがある児童	11.0 ポイント減少
家で喫煙する人がいる	7.4 ポイント減少

3-② 主な調査結果（初回調査のトピックス）

○一般調査（20歳以上男女）

自殺対策部分について

主な調査結果
悩みやストレスを感じた時に、誰かに相談したいと思う人の割合は68.4%でした。
自殺やうつ病に関連する講演会や講習会への参加経験がある人は4.6%でした。

○高校1年生調査

主な調査結果
午後11時以降に就寝する生徒の割合は69.9%でした。
週に半分以上運動している生徒の割合は44.3%でした。一方で、ほとんど運動していない生徒の割合は36.2%となっており、運動する生徒と運動をしない生徒の二極化となりました。
肥満者の割合が3.9%に対して、太っていると思う生徒の割合は18.1%となっており、自分の体型への評価が低い生徒が多くみられました。
減塩や薄味に気をつけている生徒の割合は27.7%でした（参考：一般調査56.6%）
日本食や地域の伝統的な料理を食べる生徒の割合は33.3%でした（参考：一般調査43.5%）
外食のメニューや食品を選ぶ際、栄養成分表示を参考にする生徒の割合は19.1%でした（参考：一般調査30.8%）
デンタルフロス（糸ようじ）・歯間ブラシを使用する生徒は17.4%でした。
昼食後の歯みがき実施生徒の割合は10.6%でした。（参考：一般調査46.8%、小学5年生60.0%）
直近1年間で学校以外の定期歯科健診受診生徒の割合は53.2%でした（参考：一般調査57.7%）
悩みやストレスを感じた時に相談できる人や場所の有無がある生徒の割合は85.5%でした。
SNS（ソーシャル・ネットワーキングサービス）相談を知っている生徒の割合は29.4%でした。